

私たちが望む働き方改革を進めて 長時間勤務の常態化を改善せよ！ 30人以下学級を実現すること！



発行所
三豊教育会館内
香教組三豊支部
編集人情宣部
TEL 0875-25-3761
http://www.niji.jp
/home/kazuo-t
/mitoyosibu1



要求を聞き取る三野正教育長



要求を聞き取る岡根淳二教育長

「三豊・観音寺市教委に30人以下学級実現など要求」
三豊・観音寺の教育をよくする会（澁谷光博会長）は署名に協力してくれた三豊地区労をはじめとする諸団体の仲間と共に二月一日観音寺市の三野正教育長、二月五日三豊市の岡根淳二教育長に30人以下学級実現などを要求しました。

パワハラ等、困った時の相談は、香教組へ連絡を！

三豊市教育委員会教育長 岡根 淳二 殿
観音寺市教育委員会教育長 三野 正 殿

三豊・観音寺の教育をよくする会会長 澁谷光博

ゆきとどいた教育を求める要求書

【要求の趣旨】
いま貧困と格差拡大が子どもたちの教育に大きな影響を与えています。私たちは憲法、子どもの権利条約に基づいて、すべての子どもたちに確かな学力と民主的な人格を形成する教育を実現しなければならないと考えています。こうした趣旨の下に「ゆきとどいた教育を求める香川県署名」に取り組み、今年度は三豊・観音寺市で1618筆を集約しました。その活動の中で、三豊・観音寺の教育について以下のような声があがっていました。
早急に改善されるよう強く要求します。

【要求事項】
1、全国学力テストや学習状況調査はやめるよう働きかけてください。
2、子どもと直接向き合う正規の教職員を増員するよう国や県に働きかけてください。そして、すべての小・中学校で、30人以下学級を実現するよう国や県に働きかけてください。
3、教職員の勤務時間を守るよう指導してください。また、教職員の多忙化を解消するために多忙化の原因を分析し、多忙化を解消するよう努力してください。
4、小・中学校の教材費、給食費など学校納付金を無償にしてください。
5、来年度から実施される外国語活動の授業について、子どもたちや教師の負担増にならないようにしてください。
6、その他(夏休み短縮・土曜授業・特休・パワハラ・教育支援員等)

岡根淳二教育長は、よくする会の「テストの平均点ばかり気にして過去問題をやる学校が増えている。」の質問に対して、「過去問より日常の授業を充実させて欲しい。事情のある子が多い学級もある。平均点だけみるのは言語道断。学校の序列化の手段になってはいけないので平均点は公開しない。」と答えた。

三〇人以下学級実現に対しては、「平成29年度より幼稚園は無償化、保育料に関しては、「平成29年度より幼稚園は無償化、保育料に関しては、「平成29年度より幼稚園は無償化、保育料に関しては、「平成29年度より幼稚園は無償化、保育料に関しては、」と答えた。

三野正教育長は、よくする会の「過去問を実施する学校が増えたが、過去問対策では本当の実力はつかない。その時間と経費がもつたいない。丸付けも負担となっている。」との質問に、「子どもの力を知ることが必要。優劣をつけるつもりはない。(過去問反対の)声があったことは聞いておく。」と回答した。

多忙化解消については、「市教委のテーマは業務改善である。来年に向け、学校訪問の日程短縮化・指導案の簡略化、タイムカード制等の導入の検討を進めている。ノー残業デーや計画年休制を進めてくれる学校もある。」と答えた。

三野正教育長は、よくする会の「過去問を実施する学校が増えたが、過去問対策では本当の実力はつかない。その時間と経費がもつたいない。丸付けも負担となっている。」との質問に、「子どもの力を知ることが必要。優劣をつけるつもりはない。(過去問反対の)声があったことは聞いておく。」と回答した。

今年もインフルエンザが流行した。過去には、教職員のインフルエンザ感染に対し、校長が勤務を強要する事例があったが、今年はそのような事例は聞こえてこなかった。ただ、教職員のインフルエンザに対して、「取りあえず」年休にして、「手続きが面倒だから年休で。」などと対応する管理職はまだいるのだろうか。病休が正しいはず。ある学校では、校長が計画年休制の提案をし、「部活動は週に平日の1日、土日のどちらか1日をできるだけ休みにして下さい。」などと発言した。多忙化の解消につながればと思う。

ある学校では、業務改善の一環として来年度は行事としての家庭訪問は中止し、必要であれば個別に実施する。

管理職評価!?

ある学校では、全校集会の校長の話の際に、生徒を正座(おかつこまり)させていたが、教職員の「校長がステージ上で起立し、生徒は冷たいフロアで正座をすることに違和感がある・・・。」という意見を聞き、正座を取りやめた。あなたの学校ではどうでしょう?

ある中学校の管理職(校長、教頭)が、指導としながら教員にパワハラまがいなことを繰り返しているように思われる。また、相手によって態度をかえているのではと、生徒や教師の心に寄り添う温かい指導であって欲しい。

※(パワハラ)の相談窓口は、市教委にもある。

多忙化解消に関しては、「先生活が帰る際に、パソコンに退席時間を打ち込んでもらう方向で考えている。最終退席者は校長か教頭のはずである。ノー残業デーを設けることも言っている。」

学校訪問等での指導案の様式は、学校が決めている。」と回答した。

夏休み短縮に関しては「学校からの希望があればします。」と述べた。

過去の二期制導入が流行した時期に、三観は拙速を避け、的確な判断の基に導入をしなかった。今回もそう願いたい。

色えんぴつ
合格祈願